

(3) 2019年(令和元年)5月28日 火曜日

## 人材不足リスク解消へ

離職エグロ 来月5日にセミナー

名古屋の女性講師3人に  
よる離職ゼロプロジェクト  
チームはのぞむら日、名古屋  
市中村区名駅南の「ツタビ  
ルの階・アイガセミナール  
ーム」で「人材不足リスク解

消アセスメント診断会&セ  
ミナー」を開く。愛知県内  
の企業を対象に、早期離職  
防止のポイントを提案す  
る。プログラムの一部を体  
験できる無料診断会も行  
う。

名古屋企業  
社名の由来

医療系アプリケーション  
開発や電子カルテ作成、社  
会調査事業などを手掛ける  
MSドリーム(本社名古屋  
市西区)。「医療システム  
(Medical System)  
を確立し誰でも安  
心して適切な医療機関で診  
察を受けられる社会を実現



医療機関連携の課題を探り、システム開発を  
進める社員ら

短期レンタル用のゲーム機

だからの書き  
合ひが増えて

意識の徹底を確認した。

なれば」と語った。

スローガンを出席者全員で  
唱和した。

消アセスメント診断会&セ  
ミナー」を開く。愛知県内  
の企業を対象に、早期離職  
防止のポイントを提案す  
る。プログラムの一部を体  
験できる無料診断会も行  
う。

プロジェクトチームは、  
元アナウンサーで採用力ア  
ップ講師の松下公子氏、司  
会者でコミュニケーション  
講師の加賀さわら氏、元三  
越伊勢丹ホールディングス  
社員教育担当で営業・接客  
が抱える共通の課題につい

講師の岡野英里氏の女性講  
師3人で運営。

て解決方法を提案してい  
る。

「採用のミスマッチ」や、  
「即戦力に育成できなし」、  
「社内のコミュニケーション  
不足」といった愛知企業  
は早期離職防止のための  
チェックリストに回答し、  
その後に講師によるセミナ  
ー(各50分)を受講である。  
参加費は5千円(人事・  
教育・採用担当者は無料)。

8年に設立。愛知県内の主  
要病院の小児科医が救急患  
者の情報を共有し最適な治  
療法や搬送先について話し  
合うシステムを4年前に開  
発した。行政事務官と精神  
科専門医が精神疾患者の  
情報を共有するシステムを  
2年ほど前に投入し、愛知  
県の小児科や精神科の分野  
でMSドリームの名をどど  
ろかせた。

「口ケット教室」を開く  
ROCKET実行委  
MADE IN NAGOYA ROCKET実行  
委員会(名古屋市中区)は、  
6月に中学生以上を対象と  
する「ロケット教室」を開  
催する。6月29日に打ち上  
げるモルタルロケットを参加  
者自身で設計・製作する。

実行委員会は、システム  
制作のビートフリークス  
(本社名古屋市中区大須  
4、野阪武司社長)が主催  
者で、宇宙航空研究開発機  
構(JAXA)、愛知県教

## 医療システム構築の夢へ

MSドリーム

## 患者情報共有必要と判断 医療ネットワーク改善へ

したい」という浅野美香社  
長の夢が社名に込められて  
いる。

そんな夢を持つようにな  
つたのは、病弱な長女のた  
めに、医療機関を訪ねた苦  
労からだ。新生児の平均体  
重は2900～3千gだが、  
浅野社長は約1200

で長女を出産。長女は体  
が小さく幼児期にせんそ  
く、アトピーに悩まされ、  
難病も懸念した。元氣に成  
った。

その後、長女は健やかに  
成長した。だが、「自分と  
同じように不安を抱えてい  
る親も多いはず。日本の医  
療システムを改善できない  
か」との思いが強くなっ  
てある。社員10人の小規模事  
業者だが、全社一丸となつ  
て医療で困らない社会づく  
に比べ、話せるようになる

今後の課  
題は「既存  
システムを  
在宅医療や  
介護などに

展開し、新しい時代のニ  
ーズに対応する」とと強調  
した。元氣に成  
った。

浅野社長は医学系研究機  
関の事務補助やIT業務の  
りに取り組むかまえだ。